農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

令和6年7月1日
美浜町長

市町村名 (市町村コード)	美浜町 (234460)
地域名 (地域内農業集落名)	美浜東部 (古布地区)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月22日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題※

【現状】

- ・担い手の高齢化
- ・耕作放棄地となっているところは機械が入らない、水がないなど条件が悪い。
- ・圃場外の農地は機械が入らないなど条件が悪い。
- ・露地ミカンの耕作者がやめていき、山林化してきている。(単価が安い)
- ・大規模営農者が辞めると、現在の担い手へ分配し不耕作地にならないようにしているが、現在の担い手も手いっぱいこれ以上の拡大は難しい。

【課題】

- ・担い手の育成、中心的な担い手の確保
- ・耕作放棄地の解消

※は実質化された人・農地プランと同程度の項目です。以下同じ。

(2) 地域における農業の将来の在り方※

主に地域内では水稲、施設野菜が生産されており、今後も継続して営農していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	90.70 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	46.10 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

土地改良により整備した農用地区域を将来にわたり有効活用する区域とし状況把握に務め、担い手の作業効率を上げるために集約を図る。その他の地域にある農地については地域で慎重に協議を進めながら農業上利用ができる農地は集積し、耕作が困難な農地については適切な保全・管理をする地域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針※
今後の地区の担い手の確保のために受け入れる環境を整え、中心的な担い手の育成を行い、農地の集積、集約化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方針※
農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針※
土地改良施設の長寿命化のため多面的機能交付金を活用し、補修活動を続けていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針※
地区内での担い手の確保は困難なため、他地区からの受け入れ、育成体制を整える。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農業支援サービスは現在利用していないため、地域全体で保全管理に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策※	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①地域の鳥獣被害を把握し、防止対策を講じ、地域で被害状況や防止対策を共有していく。
 ⑦草刈りや排水路の清掃などを、これからも営農する農家や、工区で定期的に行い農地の保全、環境を維持していく。